

博愛を広げるために

步 方 信

10月は **職業奉仕および米山月間**

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550 http://www.rid2550.com/

OCTOBER 2011-2012

VOL. 04

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

職業奉仕に、米山に、今一度奮闘を

第2550地区ガバナー 比企 達男



職業を通して社会に貢献。診察をする比企達男ガバナー(宇都宮陽東RC)

この月信が各クラブに届くころはもう10月ですから、新年度とも言えなくなっておりましょう。いよいよ奉仕活動に親睦活動に拍車がかかっておられることと思います。

さて、10月は職業奉仕月間であり、また、米山月間です。

1987年の規定審議会では、次の職業宣言を採択しております。要約すると、1)職業は奉仕のひとつの機会である。……3)職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、倫理的規準を推進すべく自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの要請に応え、地域社会の生活の質を高めよ。……とあります。そして、私たち自身および職業奉仕活動の道徳的支援として『4つのテスト』があることは良くご存じのとおりです。

バネルジーRI会長は新たに『職業奉仕推進委員会』を立ち上げられ、職業奉仕に力を入れておられます。 秋の夜、もう一度意識を喚起し、災害復興支援をは じめとして、進んで行動を起こしていただきたいと 願います。それでこそロータリーでありましょう。

次に、米山月間についてですが、日本のロータリーには悲しい歴史があり、第2次世界大戦に際し、1940年にRIを脱退し、戦後1949年に再加入するという忘れることのできない時代があります。しかし

CONTENTS

| ガバナーメッセージ | 1 |
|---------------------------|----|
| 世界平和の夢の実現に向けて | 3 |
| 例会は楽しいですか~「職業奉仕」について~ | 4 |
| ガバナー公式訪問だより | 6 |
| ロータリー財団研究会を開催 | 10 |
| 米山記念奨学会クラブ委員長会を開催 | 10 |
| 東日本大震災支援特集 | 11 |
| ロータリー財団および米山記念奨学会功労者のみなさま | 14 |
| 新入会員・物故会員紹介 | 14 |
| 8月会員増強・出席報告、文庫通信 | 15 |
| 地区大会講演者プロフィール | 16 |

NEWS

ロータリーレート/1ドル=78円

・ガバナー公式訪問

10月4日(火) 栃木西RC / 10月5日(水) 小山北RC 10月6日(木) 栃木南RC 10月11日(火) 小山中央・小山南RC 10月13日(木) 大田原・黒羽・大田原中央RC 10月19日(水) しもつけRC / 10月25日(火) 西那須野・塩原RC 10月27日(木) 宇都宮西RC / 10月28日(金) 小山東RC

・主要行事

10月8~10日(土~月) RYLAセミナー 10月9~10日(日~月) 米山記念奨学会学友会研修旅行 10月15~16日(土~日) 地区大会 10月22日(土) 第16回地区親善野球大会 11月20日(日) 次期クラブ会長とガバナーエレクトとの懇談会 戦後まだ混沌たる情勢のなか、東京R.C.は日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉氏の偉業を記念して、1952年に、ポケット・マネーを出し合って、海外から優秀な学生を招き、勉学を支援する奨学事業を始めました。

この事業はやがて全国規模の事業に発展し、遂に 1967年に(財)ロータリー米山記念奨学会が設立され、 わが国最大の、しかもカウンセラー制度のある民間 奨学事業となり、現在にいたっております。

そこには二度と「戦争の悲劇を繰り返さないために、 国際親善と世界の平和に寄与したい」との、ロータ リアンの強い願いがこめられております。財団設立 後45年にならんとしている現在、その活動は花を咲 かせ、たくさんの大きな実を結んでおります。これ からも変わらぬご協力をお願いいたします。

■米山奨学会活動資金について

この資金は、普通寄付と特別寄付で成っております。

1. 普通寄付金

財団設立当初から、安定財源としてきた。

半期に1度各クラブで決まった1人当りの金額を会員数分送金する。

ちなみに全国の1人当りの平均寄付額は、前年 度は約5千円であった。

2. 特別寄付金

個人、ロータリークラブ、法人からの任意の寄付 で、毎年金額が変動するため安定財源とはならない。 前年度は1人平均約1万円であった。



左から羽石光臣パストガバナー、板橋敏雄パストガバナー、比企達 男ガバナー、鈴木宏ガバナーエレクト

2550地区では毎年寄付目標を普通、特別寄付の合計を1万8千円としてきたが、前年度は1人平均1万9026円であった。当地区の会員数は全国34地区中31番目であるが、前年度の寄付額は上位7番目であった。ご協力に感謝いたします。

2009年度末の資金特別積立財産は、合計で80億6900万円であった。このうち50億円は財団設立に必要な基金で、手をつけることはできない。残りの約30億円のうち24億円は、万が一寄付がストップする事態が起きてもすでに奨学生と約束した奨学金を支払いできるよう、2年分に当たる金額である。

会員減少により、寄付額が目標額を下回る事態が 続くようなら、毎年受け入れている800人の奨学生 の人数の維持は困難となってくる。

米山奨学会活動資金は、定款により国内の学生は 供与の対象とならない。定款に抵触すると財団の資格を失うこととなる。従って、東日本大震災による、 遺児たちへの育英資金などには米山奨学会の活動資金を用いることはできず、他に求めることとなる。 なお、米山の『豆辞典』は大変充実した内容ですのでご参考に。



| 脚ロータリー米山記念奨学会発行の 『豆辞典』

■世界平和の夢の実現に向けて



(財)ロータリー米山記念 奨学会 理事長 板橋 敏雄 (足利東RC)

毎年10月は、強化月間として米山記念奨学会事業が取り上げられます。米山 奨学会理事長として、米山に対する思いと地区内皆様への深甚なる感謝とお願 いを申し述べさせていただきます。

日本の全ロータリアンの大きな誇りであり、世界のロータリーからも高く評価をいただいている米山記念奨学会の理事長を拝命して4年が経過いたしました。私自身、過ぎしロータリアンとしての50年の日々の中で、最もやりがいのある奉仕をさせていただいておりますことを感謝申し上げますとともに、本事業こそ日本全国のロータリアンのご寄付によってのみ運営されているものでありまして、皆様への感謝の毎日を過ごさせていただいております。

最初に、奨学会の現況からご報告申し上げます。現在日本の大学院、大学へ 主としてアジアから留学している学生800名に対して、大学院生に14万円、大 学生に10万円を世話クラブを通じて、毎月支給しています。熱意をもって本事

業を支えていただいている各地区委員会と奨学生に深い愛情を持ってご面倒見ていただいている世話クラブへの補助費、事務費等を合計いたしますと、毎年14億5千万円のニューマネーが必要となります。当財団は、政府文部科学省の正式認可を得て既に44年になります。基本財産として50億円、特別積立財産として26億円を国債など元本償還の確実性の高い方法で運用しています。常に評価損失はなく評価損益もプラスになっており、頂いた寄付金を奨学事業のためにだけ使うため、これら資産の運用益で管理費支出を賄っています。

日本助成財団センターの発表によりますと、当会は本年も日本の助成事業費上位100財団の中で民間奨学財団として第1位の栄冠に輝きました。正に全国のロータリアンの浄財によってのみ支えられている世界平和推進の事業なのであります。

特に今年は、東日本大震災とそれに続く原発事故の災害により戦後最大の国難の中に在ります。私は、寄付の低減を心配いたしておりましたが、おかげ様で6月末の成績は13億1400万円となり、今年度の予算額を13億円としておりましたので約1400万円のプラスになりました。心より感謝申し上げた次第です。

特にわが地区は、34地区中会員数では31位ですのに、1人当たり寄付額では、第8位を占めております。 皆様のご理解の深さとご熱意に心より感謝申し上げます。

私は、かねてより米山記念奨学会への寄付は、素晴らしい奨学事業への「片道切符」でしかないと思ってきました。優れた奨学生の世話クラブになり、例会で卓話をさせること、また奨学生のカウンセラーになって、親交を結びお互いの愛情を深めることが重要な「帰りの切符」であると思ってまいりました。

次に、海外学友会の朗報についてご報告申し上げます。

既に28年の歴史を持つ台湾の学友会では、彼らの資金で、日本から台湾に留学している大学生2名に奨学金を支給し、学友の中からカウンセラーを付けて、世話をしていただいています。彼らの恩返しです。また来る10月の15日の地区大会には、米山学友会初代会長の徐重任氏を(統一超商股份有限公司社長で台湾最高経営者賞を受賞された)ホームカミシグでお呼びし講演をしてもらいます。原発の風評被害による観光客のダヴンを台湾からの誘客をお願いできるものと確信しています。

次の朗報は、中国学友会第3回総会が10月22日北京で開催されます。彼らは、台湾の学友会や韓国の学友会にも参加を呼び掛けています。これは正に米山の理想郷です。真に日本人を理解したアジアのエリートが、新しいアジアの共同社会をつくっていくのです。米山の金字塔に一歩一歩近づきつつあることを感じます。

今年もどうぞ深いご理解とご協力をお願い申し上げまして終わります。

例会は楽しいですか~「職業奉仕」について~

職業奉仕部門カウンセラー・ パストガバナー 森玄房氏(宇都宮西RC)

きょうは職業奉仕あるいはロータリークラブに関して、私の経験を踏まえてお話しをさせていただきます。

皆さん、例会は楽しいですか? 最近、例会が形だけになりつつあるのではないのかと思えてなりません。私がロータリークラブに入会したのは、昭和53年3月2日です。何も知らないまま、父親に連れられて宇都宮西ロータリークラブの例会に出席したのが始まりでした。当時は毎週、父親についていくだけ。何の話もできないし、なんて場違いなところに来たのだろうという感じでした。

その4年後、大学の後輩のO君が、やはり父親に連れられて入会してきました。彼の入会式が終わってから、ある先輩に呼びとめられました。そこでまず言われたのが、「O君は大学の後輩だそうだが、ロータリークラブでは皆公平なのだから、決して呼び捨てにしてはいけない」ということでした。

続けて「君は例会が楽しくなさそうだね。お父さんに連れられて来ているだけのように見える」と言います。正直に「その通りです」と答えると、「いいかい、ロータリークラブというのは、職業を代表する人たちの集まりであって、金持ちの団体ではない。経験や知識が豊富な先輩たちに教えていただき、己を高め、それを自分の仕事に反映させて仕事の質を高める。また、生活や仕事をさせていただいている地域社会のために非営利的なことにも取り組む。それらを実践するのがロータリークラブの活動なんだよ」と言うのです。さらに「他人は教えてくれない。自ら飛び込んで、いろんなノウハウを教えていただいて初めて、心のきずなができ、自分を高める糧になる」とも教えてくれました。まさに目からウロコが落ちる思いがしました。

当時はロータリークラブの存在意義は職業奉仕にあるという基本精神で動いていました。それが徐々に他の奉仕プログラムと「十把一からげ」の扱いになってしまった。私はこれはおかしいと思いました。そこでノミニーになった時、近藤ガバナーに「ぜひ職業奉仕を独立させてほしい」とお願いしたのです。そうして地区の委員会組織は、現在、独立しているわけです。

ずいぶん昔の話になりますが、テーブルミーティ



宇都宮陽東ロータリー・クラブの例会で講演する森玄房カウンセラー

ングの時に、ある先輩に座右の銘を伺ったことがあります。すると論語にある「恕」だというのです。「恕」とは孔子が弟子の子貢に「一生を一言で示すとすると何か」と尋ねられ、答えた言葉です。意味は「己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ」ということです。つまり自分がしてほしくないことを他人にしてはいけないということです。同じような意味は聖書のマタイ伝にも出てきます。

孔子はさらに「忠恕」という言葉も残しています。「己の倫理、道徳観に背かないこと。相手の立場に立って物事を考えて行動すること」。まさにこの姿勢が職業奉仕の考え方だろうと思うのです。

アーサー・F・シェルドンは「ロータリーの基本はサービスだ」と言いました。「サービス」のもともとの意味は「人々や地域のニーズを満足させる行為」です。日本で最初のロータリークラブは、1920年にできた東京ロータリークラブですが、初代会長の米山梅吉さんら初期の会長たちは「職業奉仕」のことを、「職業サービス」と言っていました。軍部の圧力で、「奉仕」と言い換えたのですが、それで意味が分かりづらくなったのです。

「職業奉仕」はロータリークラブでは「ボケイショナルサービス」と呼んでいますが、天に仕えるという意味のラテン語「Vocatio」という言葉からきています。「天職」ということです。ここでいう「天職」とは天がわれわれに与えてくれた仕事と理解するよりは、天に対して偽りのない仕事に徹しているかどうか、目先の欲に目がくらみ恥ずべき行為をしていないか、

そして常に自分を律する目を厳しく持ち続けている かどうか、ということです。先ほどお話しした「忠恕」 にもつながります。

私は「職業奉仕」という言葉はあまり使いたくない。 職業倫理啓蒙活動委員会というように言うべきだと 思います。同様に「社会奉仕」も「地域社会貢献活動」、 「国際奉仕」も「国際社会貢献活動」と呼んだ方がい いのではないでしょうか。

4つのテストというのがありますね。「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」。この言葉は1954年RI会長になったハーバート・テイラーという人が作ったものです。倒産しかかったアルミ金属会社の社長になった際に、この観点を提示して仕事を見直そうと呼びかけました。営業をする際にも、商品の利点も欠点もきちんと説明してお客様に選んでいただく。そして数年後には、見事に会社を立て直しました。RI会長になった際、この4つのテストの版権をロータリークラブに譲り、以来、ロータリアンの道徳的指標になっています。

最後に私の好きな言葉を紹介しておきます。「史記」の中に「桃李物言わざれども下おのずから蹊を成す」とあります。桃李は「もも」や「すもも」、蹊は「みち」です。桃、すももには美しい花が咲いて、おいしい実がなる。当然そこには美しい花を見に、そしておいしい実を食べに人が来る。従って自然にその木の下には蹊、みちができるという意味です。人間に例えるならば、人格人徳が豊かな人であれば、集めなくても人は寄ってくるということです。これを学べる最良の場所が例会です。



謝辞を述べる宇都宮陽東ロータリー・クラブ郡司会長

仕事に例えれば、嘘偽りなくお客様に満足していただければお客様は自然に増えることでしょう。クラブに例えるなら、楽しく学べる例会にし、意欲があって充実しているクラブであれば、さらに活性化し、会員も増えると思うのです。陽東ロータリークラブの皆さん一人ひとりが、そしてクラブがさらに美しい花を咲かせ、おいしい実を実らせることを祈念しています。

(2011年8月31日 宇都宮陽東ロータリー・クラブ例会にて)

〈質疑応答〉

- Q: 先生の長いロータリー歴の中で、クラブとして行った一番思い出に残っている職業奉仕を教えていただけますか。
- A:職業奉仕は個人によるところが大きく、クラブ単位での職業奉仕というのはあまりありません。会員一人ひとりが知識や知恵、情報を交換し、お互いに自分を高め合って、それを自分の仕事に反映してさらに質の高い仕事を提供する、これがロータリークラブの一番大切なことではないでしょうか。
- Q:単に自分の仕事をするということではなく、4つのテストに合った仕事ができているか、自分を律していられるかということを究めることが職業奉仕であり、他の人との交流によって自分を磨くために例会があるという理解でよろしいでしょうか。
- A: その通りです。皆さんたちはそれぞれ素晴らしい 会員だと思うのです。それぞれの職務者であり、 代表者であり、多くの人たちは知恵を持っている し、知識も豊富だし、情報もある。それらの人た ちとの交流の中で、自分を高め、仕事に反映させ る。これがロータリーの素晴らしさだと思うのです。



活発に行われた質疑応答

ガバナー公式訪問だより



R ARY UB

会長: 辻 達男 幹事: 武田光正

真岡ロータリー・クラブ

日時:2011年8月4日(木) 会場:真岡商工会議所

ガバナー公式訪問が、ガバナー比企達男様はじめ、 牟田紀一ガバナー補佐様ほか事務局の方々をお迎 えし、真岡商工会議所で実施されました。牟田紀 一ガバナー補佐より比企達男ガバナー様のご紹介 をいただき、和やかな雰囲気の中、始まりました。

今年度の国際ロータリーのテーマ「こころの中を見つめよう、博愛を 広げるために」のテーマ発表時の感動、また、ロータリアンのゴールデ ンルール「自分にしてもらいたい事を人にしてあげよう」、精神強調事 項などを分かりやすく丁寧に説明されましたので、多くの会員が理解 したことと思います。その後のクラブ協議会では、五大委員長から本 年度の目標、活動が説明され、的確なアドバイス、改善点などをご指 導いただきましたので、今後のロータリー活動に活かしたいと思います。 ご指導ありがとうございました。





会長: 荻野美知子 幹事: 小座野清博

足利東ロータリー・クラブ

日時:2011年8月9日(火) 会場:足利プリオパレス

8月9日公式訪問が行われました。会長幹事懇談会では、特に中谷ガバナー補佐のWCSの詳細な説明に感心され、その行動に感謝と感銘のお言葉をいただき、大変光栄に思いました。荻野会長の点鐘で公式訪問例会が開会。比 企ガバナーは卓話で「さまざまな奉仕活動が全力投球で

実施されていることや、多くの女性の委員長が活躍されていることに 驚いております」とごあいさつ。RI関連のご説明や財団の「未来の夢 計画」に関するお話をいただきました。また「将来の日本、世界を担っ て立つ若者に希望を与え、ロータリーを通して人材を育成してほしい」 と締めくくられました。例会終了後クラブ協議会が開催され、各委員 会の発表に対しご指導をいただきました。最後に感謝の気持ちを込め、 1年間ガバナーが健康で無事に職責を全うされることを祈念し、万歳 三唱を行いお見送りしました。





足利西ロータリー・クラブ 足利わたらせロータリー・クラブ

> 日時: 2011年8月18日(木) 会場: 足利プリオパレス

8月18日(木)足利プリオパレスで、足利西ロータリー・クラブと足利わたらせロータリー・クラブ合同の公式訪問が行われました。とても仲の良いクラブで、両クラブとも素晴らしいプロジェクトを持っていると、お褒めの

言葉をいただきました。会員増強やクラブの活性化にもつながります ので、今後も継続して進めてくださいとのことでした。

また、会員同士が家族的な付き合いをすることが深い絆を生み、退会防止になります。そして、新世代を大切にし、将来のリーダーになる人を育てる事が必要ともおっしゃっておられました。4つのテストに沿った考え方を少年時代から植え付けていけば、立派なリーダーとなりえます。そうすれば自ずと世の中が良くなっていきますので、実践してください。残暑厳しき折、ご指導ありがとうございました。

足利西ロータリー・クラブ/会長:中川逸雄 幹事:田村繁守 足利わたらせロータリー・クラブ/会長:志賀一夫 幹事:真尾進一





会長:藤田勝春 幹事:大関秀明

宇都宮90ロータリー・クラブ

日時:2011年8月22日(月) 会場:宇都宮東武ホテルグランデ

比企ガバナーとしては、8件目の公式訪問でした。 ガバナーの奥様が在籍されており、これまでも何 度もお互いのクラブの家族親睦会などに出席され ておられるため、なかなか公式訪問という実感が わかないとおっしゃっていました。会長幹事、役

員との懇談会では、クラブの運営や主な活動、クラブの雰囲気などを、 各役員の方からお伺いし、和やかなうちに行われました。

例会では、ガバナー卓話は感銘深く分かりやすいもので、会員の皆 様は熱心に聴講されていました。

炉辺会談では、会長様から、新世代が五大奉仕部門の1つになった 経緯、会員の方から、震災支援、米山のあり方、長期計画の件などが 質問され、活発な会談となりました。各奉仕活動で素晴らしい実績を 残し、活発さを感じるクラブで、有意義な将来を感じさせていただき ました。

6 * GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



会長: 舘野 敏 幹事: 小浦正久

小山ロータリー・クラブ

日時:2011年8月25日(木) 会場:小山グランドホテル

「参加しよう、そして楽しもう」という今年度の 会長方針のもとに、例会、クラブ協議会が滞りな くかつ活発に運営されました。

奉仕のメーン事業については、被災地のRCと 相談して、東日本大震災の被災者のために本当に

必要な活動をしたいと計画しています。小山RCは、20数年前よりずっと米山記念奨学会に対する貢献度が高く、その実績は非常に素晴らしいと比企ガバナーよりお褒めの言葉をいただきました。また、当クラブは一昨年に創立50周年記念事業を終え、次の100周年記念事業に向けて「夢の100周年のための積立金」を始めており、伝統を基礎に未来を見据えた素晴らしいビジョンであるとガバナーより賞賛されました。問題点として、会員の減少を上げて、その対策についていろいろガバナーの助言をいただきました。



会長:橋本義彦 幹事:茂呂宗男

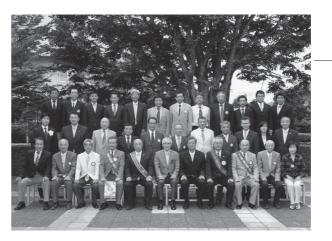
足利ロータリー・クラブ

日時:2011年8月26日(金) 会場:蓮岱館

午前10時、比企ガバナー、中谷ガバナー補佐、高山様を迎え、当RC橋本会長ほか8名の各役員が同席し、懇談会が行われました。会員の減少問題、会員増強と楽しい例会による会員の意識向上を図ること、また足利RCの歴史から、当時は先輩の厳しい教えや指導でしたが、

ロータリアンとして優しい思いやりがあった思い出話も出ました。

午後の例会ではガバナーより卓話をいただきました。ポリオ撲滅、 米山奨学生の重要性、新世代奉仕の充実などについて話をいただきま した。また中谷ガバナー補佐からは、東日本被災地支援活動の継続へ の示唆をいただきました。クラブ協議会では五大奉仕活動を中心に各 委員会から発表。停電のハプニングがありましたが、ガバナーから丁 寧なコメントを1つひとついただけました。今後の活動に役立てたい と考えています。





会長:湯澤義典 幹事:石川仁

鹿沼東ロータリー・クラブ

日時:2011年8月31日(水) 会場:鹿沼商工会議所会館

事前会議は会頭室にて開催され、湯澤会長、根本副会 長、石川幹事、見目副幹事の出席で行われました。オー ルラウンドに活躍されているクラブ運営に、ガバナーも 感心をしておられるようでした。10年前に立ち上げた健 康管理委員会は、ぜひロータリーの友へ投稿するよう勧

めておられました。また、地区の震災復興委員会の説明、ロータリー 文庫の活用など、あっという間の1時間でした。

例会場に移動し会食後、比企ガバナーより卓話をいたただき、RIの報告、地区の重点項目の説明、鹿沼東RCの活動の良さなどを話されました。炉辺会議は湯澤会長の進行で行われ、各常任委員長から説明を受け、比企ガバナーからは、震災支援プロジェクト、ロータリーとしての支援のありかた、財団、米山記念奨学会、会員増強の話がありました。



鹿沼ロータリー・クラブ

日時:2011年9月1日(木) 会場:福田屋百貨店鹿沼店3F

比企ガバナーにおかれましては連日の 鹿沼地区の公式訪問でした。事前懇談会 では柴田会長、篠崎幹事ほか役員様と、 現況報告書を基にガバナーよりご指導と



会長:柴田好雄 幹事:篠崎一男

感想をいただき、クラブ運営などの意見交換が行われました。

公式訪問例会では、ガバナーよりRIテーマ、ロゴマーク、地区目標、 米山記念奨学会などの説明があり、また、創立52年とグループ内3クラブ創立への尽力に敬意を表されました。卓話の結びとして「RC哲学は変わらないが、歴史は塗り替えられる」とし、クラブのますますの活躍に期待の言葉を述べられました。協議会では会長の司会で各委員長様からの発表と、(財)鹿沼市ロータリー障害者更生援助会の説明、鹿沼RC合唱団が全国大会に出場するとの報告を受け、エールを送りました。終了時には緊張感もほぐれ、滞りなく閉会しました。

東日本大震災支援特集

がんばろう日本●がんばろう東北

ロータリー財団研究会を開催



年次寄付・恒久基金 委員会委員長 森本 敬三 (大田原中央RC)

8月7日(日)、午前10時より宇都宮市のホテルニューイタヤにて、本年度の第2550地区ロータリー財団研究会が開催され、比企ガバナー、各ガバナー補佐および地区内50クラブの会長、財団委員長、次期会長等150余名のロータリアンが参加した。

会議は近藤隆亮地区財団委員会委員長によるロータリー財団とロータリー・クラブの位置付け、今年度のR財団の目標及びR財団「未来の夢計画」の現状と今後、特にクラブ・地区活動の年度を越えての継続性につき説明・解説が行われた(PP地区HP掲載)。

地区補助金委員会は、本年度、地区補助金として1,968,000円を用意し、9月30日まで補助金申し込みを受け付けること、ポリオプラス&識字率向上委員会は、2億ドルチャレンジへの引き続いてのご支援と、その活動内容をDVDで紹介した。また、年次寄付・恒久基金委員会は、寄付の種類・内容の解説と寄付優遇税制並びに新設の、東日本震災復興基金の内容の説明を行い、協力を要請した。

一方、国際親善奨学金委員会は、現在1名の平和フェローシップ候補者と、2名の国際親善奨学金候補者を各々RIあて推薦したこと、研究グループ交換(GSE)委員会は、第7430地区(米国ペンシルバニア州)に平成24年4月15日~5月11日の期間、当地区のGSEチームを派遣するため9月にチーム員の募集を始めることを発表した。さらに、財団学友委員会は、学友はロータリー家族の一員であるとのメッセージを示し、学友による報告を行い、今年度ロータリー財団委員会のクラブ例会卓話など、具体的な取り組みと指針を発表した。

その後、全員参加の質疑応答を実施し、予定通り研究会を終了した。

米山記念奨学会クラブ委員長会を開催



ロータリー米山記念 奨学会委員会 委員長 塚越 啓司 (足利東RC)

8月21日(日)午前10時より、宇都宮市内のホテルニューイタヤで、本年度の第2550地区米山記念奨学会クラブ委員長会が開催された。冒頭のあいさつの中で、比企ガバナーらは「米山奨学会は今年度目標の3本柱の1つ。今や世界の米山制度となっている」とその取り組みの重要性を述べた。また、板橋本部理事長は「2550地区の会員数は全国の中で決して多くはないが、寄付額では第8位。皆様のご協力に感謝している」と最近の状況を報告した。羽石米山奨学会理事も「米山奨学会は心のつながりを考えた制度。学生がカンセラーから人生を学び、ロータリーの精神を持つきっかけなっている」と、制度が根付いている状況を語った。

続いて板橋氏が講話を行った。「厳しい経済環境の中でも13億1400万円の寄付があり、前年度を上回っている。ただ、800人の米山留学生に奨学金を出すには14億5000万円が必要であり、引き続き協力をお願いしたい。台湾、中国、韓国では、この制度で卒業した人たちでつくる『米山学友会』が発足しており、彼らを中心に『恩

返し』の寄付が増えている。東大を出て弁護士になった人、実業界で大きな成功を収めている人などもいる。 米山制度で支えた留学生が日本との友好の架け橋になっている」と確かな実績を披露した。

また、関谷 (西那須) 米山記念奨学会地区委員も「金銭の援助のみでなく、生活面での相談に乗るカウンセラーがいる奨学金は米山奨学制度だけ。心が通う人間関係を重視するRCならではだ」との講話を行った。

その後、活発に情報交換が行われ、さらなる寄付の呼びかけ、制度への理解を深めるための取り組み、留 学生を送り出している各国の状況などが報告された。

顔晴れ大船渡

宇都宮東ロータリー・クラブパスト会長 ● 太城 敏之

日 時:2011年5月28日(土)

参加者:太城敏之、倉井章、炭田匡利、小林正明

義援品:大船渡西ロータリー・クラブへ

1.義援金 50万円

2. 点鐘用 ロータリーの鐘

3.演台 ロータリーマーク付

4. 宇都宮名物 餃子 (新三製) 1000 個

5.日本酒 (宇都宮酒造・四季桜) 4合×12本

大船渡ロータリー・クラブへ

1. 義援金 50万円

2.演台 ロータリーマーク付

3. 宇都宮名物 餃子 (新三製) 1000 個

4.日本酒(宇都宮酒造・四季桜)4合×12本

午前5時、ハイエースに荷物を積んで4名で出発。雨の東北道を北へ。午前9時、一の関インター到着。大船渡まで80キロ、国道343号(今泉街道)を東へ進み、陸前高田市の入り口、竹駒を通過する。桟橋だけを残し、線路が曲がった気仙沼線、屋根と柱だけの民家、根元から折れている電柱。気仙川沿いの竹駒地区は海岸から5キロくらい山寄りだが、ここでも2階まで津波が来ている。

いよいよ陸前高田市の中心部へ入る。視界一面大津波に流され海岸まで見える。大震災前は海岸にあった「高田松原」。数千本あった松も1本しか残っていない。4階まで津波で打ち貫かれた病院、ホテル。鉄骨だけを残したショッピングセンター。空襲の写真のような光景である。この様子を子供たち、中学生、高校生に見せたい。何を思うか。元気を出せるか?

さらに進んで国道45号線へぶつかる。右へ行くと気 仙沼、橋が流されたため、通行止め。左へ行くと大船渡、 右側が海岸。2メートルくらい地盤が下がったため、道 路のすぐ脇まで、海水が来ている。道路左側の5階建て



大船渡RC・大船渡西RCの各会長・幹事と宇都宮東RC会員 (5月28日大船渡西RC仮例会場にて)

マンションの4階の窓まで、津波で打ち貫かれている。

1キロ進むと小高い丘になってくる。さらに10キロくらい進むと大船渡市に入る。山道から降りていくと国道45号線の右下に、大船渡湾が見えてきた。漁港・魚市場、その北側は街が消えている。大船渡市は国道45号線の右側は海岸寄りで平地。左側は山で住宅は多くない。国道45号線を右折、市街地に入っていく。大船渡線の踏切を渡ると線路が流されている。メーンストリートを北上する。両側は建物がない。残っているのは、鉄筋コンクリートの建物だけのようだ。魚の倉庫が近いせいか物すごい臭いがする。テレビの映像は臭いがしないが現実は違う。交差点では栃木県警の警察官が交通整理をしていた。

午前11時30分、大船渡西RCの濱守豊秋P会長の会社(碁石給食㈱)へ着く。大船渡西RCの新沼福三会長・大船渡RCの金昌治会長はじめ6名のロータリアンが迎えてくれた。午後1時、仮例会場である大船渡開発会館の会議室で義援品の贈呈式を行った。

まず私(太城)のあいさつで「頑張れ大船渡」では言葉が重いので『顔晴れ大船渡』と申し上げた。笑顔になって上を向いて復興に向かってほしいと話した。続いて大船渡RC金会長へ義援金、演台、餃子、日本酒を贈った。そして大船渡西RCの新沼会長へ義援金、ロータリーの鐘、演台、餃子、日本酒を贈った。金、新沼両会長から答礼があり、その後全員で記念写真を撮り贈答式を終えた。

名残り惜しいが午後2時、大船渡を辞し、「4つのテスト」の言葉、みんなのためになるかどうか、を考えながら、午後10時宇都宮に着く。倉井、炭田、小林3氏のロータリアンには1日お付き合いありがとうございました。紙面を借りましてお礼申し上げます。

宇都宮陽東ロータリー・クラブは、クラブメンバーがそれぞれ自分ができることで被災地への支援 に取り組んでいる。その活動の一端を紹介する。

山岸、村上(修) ……… 3月20日後にT氏(陸前高田の大船渡RC)に現地被災者での不足物資を問い合わせし、

3度にわたる支援を実施。7月25日より所有マンションを福島県被災者へ無償提供を

している。

向田…………………3月末、山形県同業者からの要請により水や生活物資を支援。

長谷川…………………3月末、生活物資をワゴン車に乗せ仙台支社に直接搬入。

岩村…………… 自社備品・タオルなどを支援物資として支援。

遠藤………清掃機具を支援物資として支援。

鈴木(修) …… 被災地での清掃作業のボランティア活動を行ってきた。

橋本…………………福島県被災者(内定取消者)を自社に雇用。被災地商品を大量に買い付け。

増渕…… 被災地へ精肉を届けた。

竹田………………3月末、福島被災者に食糧・日用品を届けた。

高山………………… 宮城県名取市に生活物資トラック1台分を届けた。桑原氏に必要物資を問い合わせし

塩釜市へ届けた。栃木県内避難所 10カ所で炊き出し実施。

小池………福島県取引先に物資支援。

高木…………… 宗派を通じ被災地寺院廻り。救援物資等を届けた。

岡…… 被災地への視察支援。

このほか、メンバー全員による協力義援金のほか 各個人・会社・団体・協会などで取りまとめての義援金も拠出した。

生活物資を震災早々に支援、被災者への住宅提供、自社備品、職業物資の支援、現地でのボランティア活動、被 災者の雇用、被災地商品購入、自社製品提供、現地の必需品の支援、搬送協力、炊き出しの実施、視察支援など金 銭のほか各自ができることを実施してきている。今回の報告では 当クラブの個人による支援活動を取りまとめた が、まだまだ個人的支援を黙々と口に出さず実行しているメンバーもいることを付け加えたい。



避難所での炊き出しで支援



被災地に届けられたたくさんの支援物資

日 時:2011年8月21日(日) 会場:足利市月谷スポーツ広場

試合参加チーム:足利市少年野球ナイター大会選抜チーム、石巻市立飯野川第二小学校杉の子クラブ参加協力団体:RID2550第8グループ25名、足利市ナイター少年野球大会参加者関係者47名、

RID2520第5分区関係者36名



震災に負けず参加した石巻市立飯野川第二小学校杉の子クラブのメンバー

今回の震災に対し4RC会長幹事会から支援活動実施の強い要望があり、グループとして支援活動を行うこととなった。2度にわたり第2520地区桑原茂

学期と判明、ナイ

ター参加をあきらめ 昼間の試合を組むこ

21日、各クラブ

会員が子ども

たちのため、助

け合い試合運営

にあたった。小

雨が舞う中、子

どもたちの熱気

に支えられ、昼

12時試合開

始。1点を争う

ととなった。

PDGを訪ね、被災地の復興、被災者への支援につきアドバイスを求めた。

少年野球で被災地と交流

計画を進める中、7月に桑原PDGを再訪問した際、石巻東RC会員の案内で石巻市日和山、女川町、雄勝町、釜谷地区大川小学校へ向かった。基礎のコンクリートのみを残し、家が完全に消滅した街々。全児童108人のうち74人、教職員13人のうち10人が死亡した悲劇の小学校。小さな祭壇が設けられ、われわれも手を合わせ犠牲者の冥福を祈った。心の中を一陣の風が吹き抜けた。心は重く淋しい。

早速、4RC会長幹事会は、足利東RCに被災地の子 どもたちのナイター大会への招待を要請、石巻市立飯野 川第二小学校杉の子クラブの参加が決定。大会は8月 19日から3日間だが、日程調整で石巻は22日から2



被災地に贈られた激励の寄せ書



子どもたちは元気いっぱい。笑顔がこぼれる

攻防が続いたが、激戦の末、杉の子クラブの追撃及ばず、6対5で選抜チームが勝利した。

終了後、会場を足利フラワーパークに移し交流会が開催された。待ちに待った食事の時間となり、大人も子どもも皆、にこやかな笑顔でご飯をほお張る。両チームの子ど



勢ぞろいした両チームのメンバー



交流試合の実現に奮闘したRCの役員たち

もたちは、旧知の友であったかのように語らい始めた。 いつの間にか時間も過ぎ、別れの時となった。両チーム 相対して入り口に並び、互いの健闘をたたえ合い、熱い 気持ちを胸に固い握手で別れを告げた。

今回の活動は第8グループ会長幹事会が足利東RCに 委嘱した第1回交流会であった。長時間バスに揺られ、 ごく限られた時間の中で精一杯プレーする子どもたちの 姿に接し、参加した4RCの会員は、熱き心を胸に大き な感動を得た。必ず被災地石巻の4RC会員とともに地 域復興を目指す活動を心に誓う。

足利東RCに続けとばかりに、次回はそれぞれのRCが活動を受け持ち、実施したいとの希望があった。実際に11月には足利わたらせRCが担当して「渡良瀬杯少年野球大会」にお呼びする計画があり、理事会で検討中とお聞きしている。さらに足利RCでも幼児対象に凧上げ大会を毎年実施していることから、今年度中に石巻市からお子さんをお呼びして、足利のお子さんたちと一緒に大会を実施していく考えであるとの報告を受けている。

最後に、自ら被災者でありながら、迅速な協力をしていただいた石巻東RCの皆様、私どもに活動の機会を与えてくださった桑原茂PDGに深謝いたします。

12 * GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ロータリー財団およびロータリー米山記念奨学会功労者のみなさま

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。

2011年5月~6月分

| ポール | ポール・ハリス・フェロー | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 柳 | 浩雄 | 真岡RC | | | | | | | | | | |
| 石戸 | 芳雄 | 黒羽RC | | | | | | | | | | |

ベネファクター

| 谷 | 和文 | 葛生RC |
|-----|----------|------|
| 茂呂井 | 学 | 佐野RC |

米山功労クラブ

| 足利東RC | 36回 |
|--------|-----|
| しもつけRC | 7回 |
| 烏山RC | 11回 |
| 黒磯RC | 22回 |

| マルチプル・ポール・ハリス・フェロー | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--------|----|-------|--------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 亀掛川良宣 | 宇都宮北RC | 2回 | 柳田 解生 | 真岡RC | 2回 | | | | | | | | |
| 石川 敏廣 | 小山RC | 2回 | 阿久津和夫 | 烏山RC | 2回 | | | | | | | | |
| 加藤 隆夫 | 小山RC | 3回 | 束原 民範 | 烏山RC | 2回 | | | | | | | | |
| 原田 一哉 | 小山RC | 1回 | 野田 茂 | 烏山RC | 3回 | | | | | | | | |
| 古橋 家光 | 小山RC | 2回 | 横山 通有 | 烏山RC | 1回 | | | | | | | | |
| 田沼 穣 | 佐野RC | 4回 | 車田 孝夫 | 黒羽RC | 4回 | | | | | | | | |
| 八下田幸三 | 葛生RC | 1回 | 桜井 洋子 | 真岡西RC | 4回 | | | | | | | | |
| 吉澤慎太郎 | 葛生RC | 5回 | 氷見 定明 | 西那須野RC | 2回 | | | | | | | | |
| 辻 達男 | 真岡RC | 2回 | 池嶋 英哲 | 西那須野RC | 2回 | | | | | | | | |

| | 米山功労者 | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------------|---------|----|----|----|---------|----|--|--|--|--|--|--|--|
| 板橋 | 板橋 敏雄 足利東RC 94回~103回 | | | | | | | | | | | | | |
| 上野 | 秀雄 | しもつけRC | 1回 | 小林 | 武人 | 西那須野RC | 3回 | | | | | | | |
| 安藤 | 英夫 | 宇都宮90RC | 2回 | 加藤 | 勝朗 | 宇都宮東RC | 1回 | | | | | | | |
| 飯村 | 慎一 | 宇都宮90RC | 2回 | 倉井 | 章 | 宇都宮東RC | 1回 | | | | | | | |
| 小林 | 恒夫 | 宇都宮90RC | 2回 | 笠倉 | 俊一 | 宇都宮90RC | 3回 | | | | | | | |
| 田村 | 嘉應 | 宇都宮90RC | 6回 | 笠倉 | 孝之 | 宇都宮90RC | 1回 | | | | | | | |

第2550地区 新入会員紹介



(宇都宮西 RC)

明治安田生命保険相互会社 (株)栃木銀行栃木支店 宇都宮東営業部部長 H23.7.14入会

れるよう少しでも力に 願い申し上げます。





林貴義 (足利わたらせRC) (有)メタルワークス

代表取締役 H23.8.18入会

めたいと思います。よ ですけどよろしくお願 ご指導をお願い申し上 ブの一員として奉仕の心 ろしくお願いいたします。 いします。



藤本 隆彦

(栃木RC)

支店長

H23.7.20入会

横山 勝則 (宇都宮東RC)

群馬銀行宇都宮支店 支店長 H23.7.26入会





﨑尾 肇 (宇都宮RC)

(株)コアミ計測機 代表取締役 H23.7.27入会



北出幸一 (宇都宮RC)

NHK宇都宮放送局 局長 H23.8.5入会



田嶋 久登志 (宇都宮 RC)

(株)ララ 代表取締役 H23.8.10入会



(宇都宮RC)

パナソニック(株)関越支店 支店長 H23.8.15入会

地域の皆様に信頼さ 会員の皆様よろしくお 皆様のお仲間に加えて 皆様との交流を通じ、字都宮に移って蕎麦のお 経営理念 「喜びを共に感 通いでしたが、小学校6 いただくこととなりました。 新たな価値観を身につ いしさに感動です。"ソ 動を共に」。会員の皆様、年間は宇都宮人でした。 よろしくお願いします。 けたいと思います。 バを離れない"の思いです。よろしくお願いします。 地域貢献に精進します。



蓼沼 正道 古澤繁 (佐野RC)

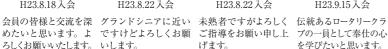
(佐野 RC) 朝日建設(株) 佐野ケーブルテレビ(株) 代表取締役 代表取締役 H23.8.22 入会 H23.8.22 入会

げます。



栗原 茂夫 (足利わたらせRC)

栗原印刷 代表者 H23.9.15 入会



物故会員 謹んで哀悼の意を表し、 ご冥福をお祈り申しあげます。

林 唯元 様 (栃木西RC)

平成23年8月19日 享年59歳

■ロータリー歴 2008~2009年 出席委員長

国際ロータリー第2550地区 8月会員増強・出席報告

| 4 | | | | 例 | 8月出 | 出席率 | 会 員 数 | | | | | | | | △ | | 例 8月出席率 会員数 | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|-----|------|-----|--------|--------|----------|----|----|----|-----|-----|----|-----------|----------|----|-------------|----|-----|-------|-------|----------|------|----|----|-----|-----|----|--------|
| 分区 | | クラフ | 名 | 例会数 | 今月 | 平均 | 7月 1日 | 今月 | 入会 | 退会 | 通算増 | 通算減 | 増減 | 内女性 会員 | 分区 | 2 | フラブ | 名 | 例会数 | 今月 | 平均 | 7月 1日 | 今月 | 入会 | 退会 | 通算増 | 通算減 | 増減 | 内女性 会員 |
| | 大 | 田 | 原 | 4 | 91.54 | 89.85 | 34 | 34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | 小 | | 山 | 4 | 97.75 | 96.51 | 38 | 38 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | c |
| | 黒 | | 磯 | 4 | 100.00 | 100.00 | 43 | 45 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 第 | 小 | 山 | 南 | 5 | 94.10 | 96.50 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 第 | 西 | 那多 | 頁野 | 4 | 90.59 | 91.13 | 39 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 第5グル | 小 | Щ | 東 | 3 | 87.87 | 91.48 | 33 | 33 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (|
| グル | 黒 | | 羽 | 3 | 93.75 | 95.00 | 16 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |] નુ | 小 | Щ | 北 | 3 | 86.96 | 83.73 | 23 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | C |
| 7 | 那 | | 須 | 3 | 77.78 | 78.48 | 12 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | 小 | 山中 | 央 | 5 | 67.75 | 71.38 | 22 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| ĺ | 塩 | | 原 | 4 | 69.44 | 70.83 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 栃 | | 木 | 5 | 81.80 | 78.80 | 34 | 35 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | C |
| ĺ | 大 | 田原 | 中央 | 4 | 82.00 | 83.00 | 27 | 27 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 第6グ | 栃 | 木 | 西 | 4 | 82.66 | 83.08 | 33 | 32 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | C |
| | 烏 | | 山 | 4 | 92.91 | 95.62 | 12 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | ループ | Ŧ | | 生 | 3 | 63.16 | 69.04 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 第 | 氏 | | 家 | 4 | 86.36 | 89.20 | 23 | 24 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 栃 | 木 | 南 | 4 | 86.70 | 85.00 | 30 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 第2グループ | 矢 | | 板 | 4 | 58.60 | 61.70 | 28 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | | 日 | | 光 | 4 | 75.79 | 72.59 | 24 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 7 | 馬 | 頭! | / | 4 | 83.32 | 83.35 | 21 | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 鹿 | | 沼 | 3 | 76.56 | 77.53 | 62 | 64 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 |
| | 高 | 根 | 沢 | 4 | 75.00 | 73.60 | 18 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 第7 | 今 | | 市 | 4 | 91.46 | 90.85 | 41 | 41 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | c |
| | 宇 | 都 | 宮 | 4 | 74.90 | 74.00 | 87 | 93 | 4 | 0 | 8 | 2 | 6 | 0 | グル | 鹿 | 沼 | 東 | 4 | 91.02 | 93.70 | 43 | 43 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 第3 | 宇 | 都習 | 含西 | 4 | 84.83 | 88.90 | 68 | 69 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |] 🚽 | 粟 | 野西 | 方 | 4 | 88.50 | 91.85 | 13 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 第3グルー | 宇 | 都習 | 含北 | 4 | 85.30 | 77.02 | 45 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 鹿 | 沼 中 | 央 | 4 | 78.87 | 83.88 | 27 | 28 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| プ A | 宇 | 都區 | 含 90 | 4 | 83.98 | 85.44 | 40 | 41 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 | | 今 | 市き | ぬ | 4 | 87.96 | 89.82 | 27 | 27 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | C |
| | 宇 | 都宮 | 陽北 | 4 | 87.62 | 86.22 | 29 | 30 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | | 足 | | 利 | 3 | 73.66 | 70.17 | 36 | 37 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | C |
| | 宇 | 都智 | 宮東 | 4 | 93.65 | 93.60 | 92 | 92 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 第8グ | 足 | 利 | 東 | 3 | 81.56 | 76.66 | 58 | 58 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 第3グループB | 宇 | 都習 | 宮南 | 3 | 87.23 | 87.23 | 45 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | ループ | 足 | 利 | 西 | 4 | 78.83 | 76.92 | 13 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | C |
| ル プ R | 宇 | 都宮 | 陽東 | 5 | 67.50 | 75.00 | 42 | 43 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 足利 | 引わた! | Бŧ | 4 | 94.92 | 97.03 | 28 | 30 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | C |
| | 宇 | 都宮 | 陽南 | 3 | 92.16 | 90.94 | 17 | 16 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | 2 | | 佐 | | 野 | 3 | 91.00 | 90.60 | 60 | 63 | 2 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 |
| | 真 | | 岡 | 4 | 87.78 | 86.79 | 51 | 51 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 第9 | 葛 | | 生 | 4 | 93.20 | 92.05 | 32 | 33 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 第4グル | 益 | | 子 | 4 | 91.20 | 92.10 | 29 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | H | 田 | | 沼 | 3 | 88.50 | 90.70 | 36 | 36 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | С |
| ループ | 真 | 岡 | 西 | 4 | 87.23 | 86.67 | 37 | 36 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | 5 |] 🚽 | 佐 | 野 | 東 | 4 | 85.23 | 87.50 | 22 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | C |
| | U | ŧ: | つけ | 5 | 91.88 | 92.04 | 33 | 33 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | | 岩 | | 舟 | 4 | 68.80 | 71.70 | 21 | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 0 R | С | | 84.22 | 84.73 | 1691 | 1712 | 10 | 3 | 28 | 7 | 21 | 67 |

文•庫•通•信(288号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念 事業の1つとして1970年に創立された皆様の資 料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚 資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご 利用に備えております。閲覧はもちろん、電話 や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご 紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承り ます。また、一部資料はホームページでPDFもご 利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー 文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活 用願います。右資料のご紹介をいたします。

●ガバナー月信と新着文献より 申込先: ロータリー文庫 (コピー / PDF)

.....

『「現代社会とロータリー」 一クラブと会員はどうあるべきか』 上野

『ロータリーの綱領について』 『自他の関係と奉仕』 以下、申込先が変わります

川野 正久 2011/2p(D.2590月信) 『「親睦と奉仕の調和」ロータリー思想の原点』 織田 吉郎 2011/1p(D.2790月信) 『「利己と利他の調和」の哲学一「東洋の実業倫理」』 亀井 義弘 2011/2p(D.2670月信) 桑月 心 2011/1p(D.2630月信) 『地域に合った、オリジナルで独創的な 活動をしよう「親睦活動月間を考える」』 崎山 武夫 2011/1p(D.2610月信)

『わかりやすいロータリー 改訂第4版』

『奉仕の原則と保全の法則(1929年出版)』

D.2650 2011/70p [申込先: 渕上勝夫 FAX (0779) 87-2560] アーサー・F・シェルドン著/田中 毅訳 2011/103p [申込先:田中 毅 FAX (06) 6491-9899]

操 2011/1p(D.2580月信)

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 URL http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館時間:午前10時~午後5時 休館日:土・日・祝祭日

各ロータリークラブでおしらせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。



■ 2011-2012 RID2550地区大会開催のご案内



会場:宇都宮グランドホテル

講演者プロフィール



師 C.W.ニコル氏 作家/環境保護活動家/探検家

講演テーマ「人と自然の共生」

1940年 7月17日、英国ウェールズ生まれ

1957年 17歳でカナダへ渡り極地探検を行う

1962年 空手の修行のため初来日

1980年 長野県黒姫に居を定め、以降、執筆活動をしている

1986年 森の再生活動を実践するため、荒れ果てた里山を購入

その里山を「アファンの森」と名付け再生活動を始める

1995年 日本国籍を取得

2002年 「アファンの森」での活動や調査等をより公益的な活動として全国

展開するために「財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団法人」

を設立し、理事長となる

2002年 内閣府「未来生活懇談会|委員

2003年 東京都エコツーリズム・サポート会議委員

環境省エコツーリズム推進会議委員

英国エリザベス女王陛下より名誉大英勲章を賜る 2005年

京都大学フィールド科学教育センター社会連携教授



桑原 茂氏

キクニ株式会社代表取締役。1953年6月23日生。 1984年2月に塩釜RCに入会し、2005~2006年に 国際ロータリー第2520地区ガバナーに就任。以後 国際ロータリー第2820地区・第2720地区のRI会 長代理を歴任。2011~2012年度は国際ロータリー・ コーディネーター、RI研修リーダー。またポールハリス・ ソサエティの創始会員。米山功労者メジャードナー。



徐 重仁氏 (台北東海ロータリー・クラブ)

1976-77年度平塚RCホスト。台湾・台南市出身。 1948年1月6日生。台湾最大の流通・小売企業 「統 一超商 | 社長であり、傘下のグループ企業各社で 取締役会長を務める。元台湾チェーンストア協会理 事長、台北東海RC初代会長、台湾米山学友会 初代理事長。2010年「国家傑出経営者賞」で最 優秀賞を受賞する。

日程

 $10/_{15}$ Sat.

第1日 会長・幹事・ 地区指導者育成セミナー

(会場:宇都宮グランドホテル)

講演 国際ロータリーコーディネーター 桑原 茂氏

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

10/16 Sun.

第2日 本会議 (会場:宇都宮グランドホテル)

講演 米山学友 徐 重仁氏

記念講演

C.W.ニコル氏「人と自然の共生」